

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、コーポレートスローガンである「Invented for life」に則り、革新的で人々を魅了する製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献していくために、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力してまいります。

また、従業員一人ひとりが自分のベストを尽くせる場所を見つけ、そこから生まれる多様性が企業にとって重要な財産になると考え、すべての従業員を尊重し、そのポテンシャルを最大限に発揮できる企業文化を醸成しております。

具体的には、魅力ある雇用主であることを目指し、自社の経営状況および社会的情勢を踏まえた適切な方法による賃金の引上げや、福利厚生を含めた総合的な処遇の改善を実施しております。また、ワークライフバランスの実現を目指して、チーム単位で出社とリモート勤務の割合を柔軟に決められる Smart Work と称するハイブリッドな働き方や、育児介護との両立を支援する短時間勤務制度の導入にも取り組んでまいりました。さらには、従業員の専門的能力やスキル向上のための研修制度、生涯にわたる学びをサポートするキャリアデザインプログラムなどの人材投資にも積極的に取り組むことによって、従業員への持続的な還元を目指してまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【令和5年6月1日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/31654-05-23-tokyo.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社では、ステークホルダーに対するすべての取組みの中核に、ボッシュ・バリューを据えており、責任ある企業というだけでなく、信頼される社会のパートナーとして取組みを進めてまいります。

将来と収益への志向

私たちは、収益志向の活動を通じて私たちの未来を確実なものとし、会社とロバート・ボッシュ財団が非営利事業を行うための基盤とします。

責任と持続可能性

私たちはより良い社会と環境のため、慎重かつ責任ある行動をとります。

イニシアチブと強い意志

私たちは、起業家としての責任感を持って自発的に行動し、強い意志を持って目標を追求します。

オープンであること

私たちは、会社の重要な事業展開に関する情報をタイムリーかつオープンに開示します。そしてこれこそが、互いに信頼し合える協力関係の基盤であると考えます。

フェアであること

私たちは、一緒に仕事をするにあたり、従業員間、またビジネスパートナーとの間で、互いにフェアであることが成功の条件であると考えます。

信頼・信用・遵法

私たちは、守れることのみを約束し、約束したことは果たす義務があると考えます。また、法を順守して行動します。

ダイバーシティ

私たちは、多様性がボッシュの成功に不可欠と考え、これを促進します。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和5年9月1日

ボッシュ株式会社

法人名

代表取締役社長 クラウス・メーダー

役職・氏名（代表権を有する者）